

願い橋早期復旧について

提案内容	<p>願い橋（地元では潜水橋）この橋は錦織監督により映画化された時に、願い橋と名前を付けられた有名な橋となりました。</p> <p>今年も土手の桜も晴天続きで連日大勢のお客様で賑わいました。ところが、この橋がゴミ受け支柱の木が腐ったままです。知人の話ではせっかくの橋が無残な姿ですねとのこと。雲南市シンボル観光の場所の一つです。いろいろ事業はあると思いますが、早急に復旧されることを願います。</p> <p>追伸 （以前にも復旧されたと思います。ゴミ受けささえ木が材木でした、例えば電柱のようなコンクリートのささえ木にされたら腐らないと思います）</p>
回 答	<p>下熊谷橋（通称：願い橋）の塵避け（ちりよけ）は、令和3年7月豪雨の際の大量の流木により破損しており、その修繕について令和4年6月に地域自主組織並びに地元自治会等から早期復旧の要望書が提出されたところです。</p> <p>本橋は、市道ではなく河川内の連絡路のため災害復旧事業の対象にならず、また今回のように大量の流木がせき止められた際に水位が上昇し、最悪の場合堤防の決壊を誘発する恐れがあります。そのため、その扱いについて関係機関等で長年協議を進めているところです。</p> <p>しかしながら、ご提案のとおり本橋は斐伊川桜並木と一体となった貴重な景観であることから、国土交通省と協議を進めた結果、本年度に修繕に向け測量調査を行うこととなったところです。復旧の時期は未定ですが、早期の復旧に向けて引き続き調査・協議を進めてまいります。</p> <p>なお、復旧する場合の構造につきましては、国土交通省との協議を踏まえ、原形復旧が条件となりますので、その点ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：産業観光部観光振興課、建設部都市計画課）</p>